



平成 24 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 古森 重隆  
(コード番号：4901 東証第一部・大証第一部・名証第一部)  
問 合 せ 先 経営企画部 IR室長 杉山 健  
(TEL：03-6271-1111)

## 平成 24 年 3 月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 10 月 31 日に公表した平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 24 年 3 月期 通期連結業績予想値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

<米国基準>

	売上高	営業利益	税金等調整前 当期純利益	当社株主帰属 当期純利益	1株当たり 当社株主帰属 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 23 年 10 月 31 日発表)	百万円 2,290,000	百万円 136,500	百万円 107,500	百万円 54,000	円 銭 112 10
今回修正予想(B)	2,200,000	110,000	78,000	28,000	58 13
増減額(B-A)	△90,000	△26,500	△29,500	△26,000	△53 97
増減率 (%)	△3.9	△19.4	△27.4	△48.1	△48.1
(参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	2,217,084	136,356	117,105	63,852	131 30

#### 2. 修正の理由

当社を取り巻く事業環境は、米国では景気の回復基調が弱く、欧州でも政府債務危機などにより景気が停滞しています。新興国地域でも経済成長が鈍り始めるなど、先行きが不透明な状況となっています。同様に、日本国内でも、為替の円高や、輸出環境の悪化に伴う需要減少などの景気下振れリスクが存在しています。

当社においては、販売体制の強化や新製品の投入などにより、中国をはじめとする新興国市場での販売は好調に推移しておりますが、為替の円高や、景況感の悪化による需要の減少、タイの洪水に伴う一部製品の供給への影響などにより、売上が計画を下回って推移しております。営業利益についても、売上の減少に加え、為替の円高やタイの洪水に伴う製品供給のための経費増加などにより、計画を下回っております。また、昨今の株価低迷により投資有価証券評価損を計上したことなどにより、税金等調整前当期純利益、当社株主帰属当期純利益についても同様です。

これらの状況を踏まえ、平成 24 年 3 月期の通期連結業績予想については、売上高、営業利益、税金等調整前当期純利益、当社株主帰属当期純利益、1株当たり当社株主帰属当期純利益を下方修正いたします。

注) 本資料に記載されている予想値は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の実績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

以 上